

竜頭滝

竜頭滝は男体山の噴火による溶岩流によって形成されました。現在は、噴火によって生じた灰が固まってできた岩の上を、水が滑り落ちています。滝の名前は日本語で「龍の頭」という意味です。日本語では、“竜”とはドラゴンを、“頭”とは頭を意味します。滝つぼが竜の顔に似ていると言われており、流れ落ちる水の様子は竜が飛んでいる姿のように見えると言われています。

奥日光は楓の種類が多いこと、それらが織りなす華やかな秋の色彩で知られています。紅葉と滝の水の鮮やかなコントラストが、多くの観光客を惹きつけています。トウゴクミツバツツジが咲く五月下旬もまた、(景観が)素晴らしいです。